

はじめに

生命科学部長 山下明泰

この履修の手引きを手に行っているのは、入学間もない新1年生の諸君が多いと思います。今、諸君の多くはこの冊子を手にとり、これから始まる作業に期待と不安を抱いているかもしれません。それは全員に共通のことであり、ある意味、皆同じスタートラインに立っているといえます。ところが、これからはばらばらになると、持っている情報量が学生間で大きく開いてしまうことがあります。私たち教職員は限られた時間の中で、必要にして十分な情報を提供しますが、詳細について語る時間はなく、また時間があっても、ルールが分からないままに聞いても意味のある説明にはなりません。そこで「ルール」を学ぶための手引きが本書です。

大学入学直後、知識が不足している時期に、諸君には履修登録という年間を通じて最も大切な作業をしてもらわなければなりません。この作業は年に一度のことですが、上の学年に上がる時になって、「こうしておけば良かったんだ」という声をしばしば耳にします。諸君にはそうした羽目に陥らないように、本書をよく読んで、積極的に作業に参加してもらいたいと思います。

法政大学には15の学部があります。上の学年に上がると、履修する科目の大半が各学科で主催する専門科目になりますが、初年度は学科を超えた科目（数学や自然科学の基礎科目など）、あるいは学部を超えた共通科目（語学や体育など）を学ぶこともあります。それらをルールに従って正しく履修するには、本書を十分に読み解く必要があります。大学では100人が100通りの時間割を作ることになるので、隣の人と話し合うだけでは、思うような科目を履修できないこともあるので注意しましょう。

生命科学部には世界的な業績を持つ著名な研究者も少なくありません。でも、諸君は世界を驚かせる研究を始める前に、自然科学に関する十分な力を養成する必要があります。高等学校の理科で学んだ知識は、最新の内容ではありませんが、何百年たっても変わることはない基本です。まずはそれらの復習から始めて、上の学年で履修する専門科目に、スムーズに移行できる力をつけてください。入学の感激を忘れずに、一所懸命に努力すれば、成功は疑いありません。

開講科目のうち、教職課程、英語強化プログラム（ERP）、Study abroad（SA）プログラム、派遣留学生制度などはとてもユニークな科目です。また、Gラウンジというところに行けば、お昼休みを含むいつでも、外国人講師から直接、英会話を無料で習うこともできます。本学は留学制度が非常に充実していることでも知られています。大学で用意されているシステムを十分に活用して、語学の実力を養えば、留学も視野に入ってくることでしょう。若い時にしかできないことに、是非挑戦してみてください。